



総合防災訓練



西春中ゴヤの苗植え

とらい
あんどる

平和夏まつり

＝ 目次 ＝

2p: 第3次男女共同参画
基本計画が策定
3p: 東日本大震災被災地支援
活動関連
4p: インフォメーション



さんちゃん かくちゃん

入場無料

平成23年度 北名古屋市市民による男女共同参画推進事業

岩城正光氏(弁護士)講演会

「育てよう子どもの心」
～地域で見守る大人の目～

子どもたちの心を穏やかに育てるためには、地域の大人たちの見守りも必要です。安心して子育てできる地域づくりについて一緒に考えてみませんか。

と き 9月4日(日) 午前10時開演
ところ 総合福祉センターもえの丘
ふれあい健康ルーム

主催: 託児グループ「めばえ」
問合せ: 080-3647-1590 鷺山

笠井信輔氏(フジテレビアナウンサー)講演会

「東日本大震災から見た男女共同参画」

フジテレビアナウンサーの笠井信輔さんを招いて、東日本大震災被災地の取材を通して感じたことなどのお話を聞きます。また、講師は「イクメン」を実践されており、さまざまな視点から「男女共同参画」を考えます。ぜひご参加ください。

と き 平成24年1月28日(土) 午後1時30分開演
ところ 文化勤労会館大ホール(託児・手話あり)

※入場は無料ですが整理券が必要です。整理券配布については広報12月号ほかチラシをご覧ください。

主催: 北名古屋市男女共同参画推進市民団体「さんか・クラブ」
問合せ: 090-6092-4779 「さんか・クラブ」事務局 四谷



あいち国際女性映画祭2011 北名古屋市会場

『テンバ 希望の少年』上映とゲストトーク

(ドイツ・南アフリカ合作)

男女共同参画の推進を目的とした「あいち国際女性映画祭2011」を開催します。女性監督の映画の上映をはじめ、ゲストを招いた楽しいトーク等を行います。

と き 9月10日(土) 午後1時～4時(開場/午後0時30分)
ところ 文化勤労会館 大ホール(全席自由席) 前売り 600円 当日 1,000円

販売場所 市民活動推進課(西庁舎)、生涯学習課(東庁舎)、文化勤労会館、東公民館

託児 1歳から就学前までのお子さんをお預かりします。おひとり500円で、定員は10人(先着順)です。
希望される方は、9月2日(金)までに市民活動推進課(西庁舎)へ。

※当日は、市役所東庁舎、名鉄西春駅西口、文化勤労会館を結ぶ臨時バスを運行します。お問い合わせは 市民活動推進課(西庁舎)へ。

オープニング
アフリカ太鼓
ゲスト来場
(予定)



日本語字幕
手話通訳
要約筆記あり

ひとりで悩まず、電話で相談しよう!

●北名古屋市役所 市民活動推進課

☎0568(22)1111

男女共同参画を阻害する権利侵害について、相談委員が相談および処理・助言にあたります。

対 象 市内在住・在勤・在学の方(予約制)

相談委員 伴 麻里氏(弁護士)、三枝 優氏(大学教授)

●愛知県女性相談センター 名古屋市東区上野杉町1(女性総合センター)

◎女性悩みごと電話相談ダイヤル ☎052(962)2527

女性相談員がお聴きし、一緒に考えます。

相談時間: 月曜日～金曜日 午前9時～午後9時

土曜日・日曜日 午前9時～午後4時 (祝日、年末年始は休み)

◎DV専門電話相談専用ダイヤル ☎052(962)2528

DV被害者に弁護士が電話でアドバイスします。

法律的な問題は、こちらをご利用ください。

実施時間: 月曜日 午後2時～午後3時30分

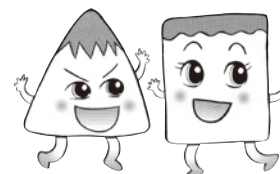
(第1・3・5月曜日は女性弁護士が対応します。)

●愛知県西枇杷島警察署

☎052(501)0110(代)

●DV相談ナビ(内閣府)

☎0570(0)55210(自動音声による案内)



さんちゃん かくちゃん

編集 さんか・クラブ

イラスト えりちん

発行 北名古屋市総務部
市民活動推進課 西庁舎3階

電話 0568-22-1111

FAX 0568-25-1800

Eメール katudo@city.kitanagoya.lg.jp

ホームページ http://www.city.kitanagoya.lg.jp/

平成23(2011)年9月発行

編集後記

今年3月11日に起きた東日本大震災。大地震に加え大津波が襲い掛かるといふ、まさに未曾有の大災害です。甚大な被害を受けられた被災者の方々のことを思うと大変心が痛みます。一日も早い復興を願わずにはいられません。今回は、昨年12月に内閣府が策定した「第3次男女共同参画基本計画」の概要を紹介し、内容に盛り込まれている「防災」について改めて考えてみました。わたしたちの住むこのまちにもいつ大きな自然災害が起きるとも限りません。いざという時のために備えておく必要があります。今一度自分の身の回りを見直し、地域みんなでできることを考えてみたいと思います。助け合いの心を大切にしながら…。 (四)

相続・贈与・土地の名義変更

●土地やマンションの名義変更手続き全般(相続・生前贈与・財産分与・離婚など)

●遺言書の作成 ●成年後見人選任 ●住宅ローン完済の抵当権抹消

●会社設立・定款変更 ●各種/登記・裁判手続、契約書類作成



司法書士

松田弘一事務所

http://www.kitanagoyashi.com

司法書士 松田弘一: 北名古屋市生涯学習講座、消費生活センターなどで、講演を多数。FM愛知、CBCラジオやテレビ番組にも出演経験あり。むずかしい法律を分かりやすく説明します。平成8年事務所開設。

★※この情報誌をご持参の方に限り、名義変更手続きの初回相談無料(平日のみ、30分以内。要予約。有効期限: 平成24年9月)★

西春小学校西門のスグ前

北名古屋市西之保立石123-6

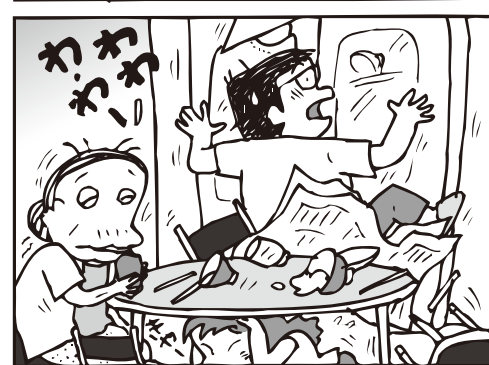
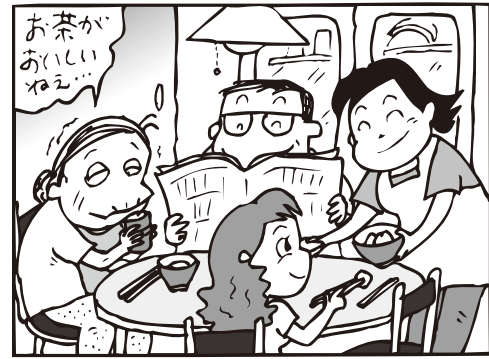
TEL 0568-23-6022

お電話にて気軽にご予約ください。



業務時間/平日9:00～17:00
ただし、ご予約により19:00まで延長
土・日・祝日 完全事前予約制

大地震発生！



東日本大震災被災地支援活動に出向いた保健師の声！

愛知県の要請を受けて4月13日から8日間、岩手県大槌町の避難所等で被災者の健康管理に携わりました。

一面がれきの山と化した街を見た時は絶句しました。

避難所では、PTSD(心的外傷後ストレス障害)が見られる子どもがいたり、高齢者が体調不良を訴えるなど、状況は良くありませんでした。

改めてこの地域で災害が起こったら！と考えてみると、日頃のご近所同士のコミュニケーションは重要。要援助者等を抱える家庭では、日頃から状況を近所に発信しておくことや、災害時をイメージし、話し合っておくのも大切です。

もし避難所で過ごさなければならなくなった場合、避難所のさまざまな環境を整える際には女性の意見を取り入れてもらえるよう声を上げてください。男性だけではなく女性の視点も必要です。



避難する時気がつかないものって意外とあるよね！



「ひとりごと…」 - 40代ママ編 -

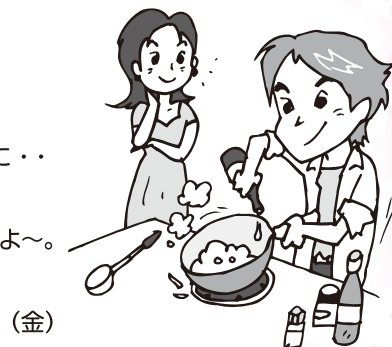
《婚活?!》

ある日テレビを見つつ・・・婚活中の男性いわく「僕は料理が得意。妻には毎日おいしいものを食べさせてあげたいな」。隣で「素敵な方だわ!」と微笑む女性陣。

変わった!世は確実に・・・『僕・作る人、私・食べる人』のCMは抗議の嵐だったのに・・・『男子厨房に入る』素敵な事だと感じつつ何か心に引っかかる・・・

そうだ!そこで微笑む娘たち、あなたは料理できますか?やればできる?だったらやってよ～。互いに相手を大事にすればそこに家庭ができるのよ。

う～ん、はやる老婆心はコーヒーで飲み込んでしまおうかな。



平成22年12月

第3次男女共同参画基本計画が策定されました!

なんだか難しそうだけど・・・。

男女共同参画社会を推進するために、いろんな状況の変化を踏まえて「男女共同参画基本法」に基づいて政府が策定する計画だよ。第1次は平成12年、第2次は平成17年に策定されて、5年ごとに見直しているんだね。

ふ～ん、今回はどんな特徴があるの?

重点分野として15分野の新設や拡充があって、成果目標も設定してるんだよ。

【改めて強調している視点】

- 女性の活躍による経済社会の活性化
- 男性、子どもにとっての男女共同参画
- 様々な困難な状況に置かれている人々への対応
- 女性に対するあらゆる暴力の根絶
- 地域における身近な男女共同参画の推進

今回は「第14分野」の内容をクローズアップしてみよう。

【第14分野】「地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進」

地域における政策・方針決定過程への女性の参画の拡大、特定の性や年齢層で担われている分野への男女双方の参画(地域おこし、まちづくり、消防団など防災分野への女性の参画、子育て支援活動への男性の参画など)

〈成果目標〉

項目	現 状	成果目標(期限)
自治会長に占める女性の割合	4.1% (平成22年)	10% (平成27年)
女性委員のいない都道府県防災会議の数	13 (平成21年)	0 (平成27年)
全国の女性消防団員	19,103人(平成22年)	10万人

北名古屋市ではどうなの?

女性の自治会長は0。市の防災会議委員は24人で女性は2人。女性消防団員は6人なんだって。

今回は3月に起きた東日本大震災を踏まえて、みんなで改めて防災について考えてみようよ。

そうだね。防災の取り組みは男女のニーズの違いを把握して進める必要があるんだ。男女共同参画の視点を取り入れた防災体制をつくっていかないと。

男性が気づかない部分もあるし・・・。政策や方針決定の過程で女性の参画は絶対必要だよね。

そう、男性も女性も役割分担意識を見直して、お互いに助け合うことが一番大切なことなんだ。

今回の大震災を教訓として、これからみんなで考えていかななくちゃ。そういえば北名古屋市からも被災地に派遣されて支援活動をした保健師さんがいるって聞いたんだけど。

そうだね。今後の防災を考えるヒントがあるかも。3ページで紹介してるよ。